



年頭のごあいさつ

村上市長

高橋 邦芳

「やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち」を目指して

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、心穏やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、今後の人口減少社会へ対応するべく、村上市総合戦略により多方面からさまざまな施策に取り組んでまいりました。

そのような中、昨年10月には、県内初となる「村上市歴史的風致維持向上計画」が国土交通大臣、農林水産大臣、文部科学大臣より認定を受けることができました。これからの本市の方向性を示していく計画であり、町並みや集落、街道、港などの資産、そしてそこに息づく伝統や芸能、文化が融合していくことで、歴史的風致を活用したまちづくりを進めていくことができるものと考えております。

さて、本年4月からは、「第2次村上市総合計画」がスタートいたします。

第1次総合計画での成果をベースに、「やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上」を将来のあるべき姿として、市民の皆さまの幸せが大きく広がるまちを創造し、平成33年度までの5か年計画で取り組みを進め、一人ひとりの暮らしにしっかりと寄り添った各種施策を展開してまいります。

具体的には、子どもたちの発達段階に合わせた保育環境の充実とサービスの向上を図るため保育園の統廃合を進めるとともに、保護者の皆さまには、子どもの

発病時でも安心して仕事が行えるよう、まずは、県立坂町病院の敷地内に「あらかわ病児保育センター」を設置し、7月よりサービスを開始する予定としております。

また、大変好評をいただいております住宅リフォーム助成事業につきましては、市民生活の向上と地域経済の活性化に大きく寄与できているものと感じておりますので、引き続き取り組みを進めてまいります。

2020年東京オリンピック・パラリンピックまで3年となりました。追加競技種目となったスケートボードは、本市出身のソチ冬季オリンピック銀メダリストの平野歩夢選手をトップアスリートに育て上げた競技であります。その原点となった現施設が老朽化していることから、新たに屋内施設として国内最大規模となるスケートパークの建設を進めております。この施設には、地域産材を多く使うことで、木材産地としてのPRと地域林業の活性化への波及効果も期待されます。

本市を中心とするこの地域の生活と経済に大きな効果をもたらす日本海沿岸東北自動車道の延伸では、大須戸地内でトンネル工事に着手されることとなっており、朝日みどりの里関連施設につきましても、「道の駅「朝日」拡充基本計画」を策定し、東北エリアと関東・北陸エリアを接続するゲートウェイとしての機能を發揮して、訪れる人や市民の皆さまが安らげる場の整備を検討してまいります。

また、厚生連村上総合病院の移転新築につきましては、平成32年の開院を目指し、移転候補地周辺の整備を進めてまいります。事業者による事業性評価が1年延期されることとなりました岩船沖洋上風力発電事業は、引き続き、地球温暖化対策に資するエネルギー政策の推進とともに、本市における地域経済の活性化への取り組みとして、事業の推進に努めてまいりたいと考えております。

本年が、未来に向かって、ここで暮らすことに誇りをもち、やさしさと自信に満ち溢れた多くの笑顔に出会える「まち」を創造するためのスタートとなるよう、力強く取り組みを進めてまいります。

結びに、本年も、皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。